

窒素同化（タンパク質合成）による収量、うま味の増加



## 期待できる効果

うま味の向上

収量・サイズの向上

窒素代謝/光合成の補完

## ▼ 含有成分量

尿素態窒素 (N)	2%
可給態リン酸 (P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	14%
水溶性カリウム (K <sub>2</sub> O)	15%
ホウ素 (B)	0.9%
鉄 (Fe)	3%
亜鉛 (Zn)	3%
マンガン (Mn)	2.9%
銅 (Cu)	1.1%
モリブデン (Mo)	0.005%
発酵マンニトール	有効量

## 特長

- ・糖アルコールの一種である発酵マンニトールの働きにより、硝酸態窒素を アミノ酸からタンパク質へと変換し、うま味、収量、果実サイズの向上に貢献。
- ・N、P、K以外に6種の必須微量元素を含んでおり、様々な酵素反応を促進。
- ・光合成を補完し、植物の生育を助ける。
- ・高温ストレス時、低温ストレス時、どちらにも有効に機能し、耐性を高める。

## ポイント解説

植物体内の硝酸イオンが過剰になると、糖度を下げる、ビタミンや抗酸化物質の量も減少といった弊害が起こるので、特に、夏場の窒素コントロールは重要な意味を持ちます。スプリームを開花以降の生育期に与えることにより、うま味や収量の向上が期待出来ます。

## 施用量

※あくまで、目安となります。作物によって、多少の違いがあります。

収量/サイズ向上（開花後）	100～250 g /10アール	1～3週間隔
うま味向上（結実期）	100～250 g /10アール	7～14日間隔
窒素代謝の促進	100～250 g /10アール	2～4週間隔

顆粒水和田材



灌注、スプレー散布などの散布方法に関わらず、施用面積10アールに対して水量500 L、本製品250 g でご使用の場合、希釈倍率は2,000倍となります。

荷姿： □9kg □1kg

## 主な栄養素の含有%

N	P	K	Ca
2	14	15	-

万能資材スプリームは施用する時期によって様々な効果が期待できます

## 成長改善 発芽以降の成長期に施用

スプリームには窒素、リン酸、カリウムと微量元素6種がバランスよく含まれています。全ての成分が植物栄養素として有効で、植物の生育には欠かせない成分となっています。リドックス製品は窒素の施用量を調整できるように、窒素成分をあまり含んでおりません。必要に応じて窒素成分を追加で混合してください。

## 収量アップ 開花時に施用

スプリームは開花前後に施用することで、最終的な作物の収量を増加することができます。スプリームに含まれる植物栄養素は生育にとって最適で、花芽の形成や分化を最大限に促進します。

## サイズアップ 結実時に施用

開花時の収量アップと同様、結実時に施用することで作物のサイズを向上することができます。結実時に施用されたスプリームの栄養素は実に供給され、実の細胞数を増大させることでサイズアップを実現します。

## リドックス製品の特徴

リドックスのほとんどの製品にはアミノ酸・フミン酸・フルボ酸などの成分を含有しています。これらの成分は植物栄養素となる成分をキレーション・コンプレクシングといった特殊な化学反応を用いて保護しています。そのため、資材混合後のタンク内や施用後の土壤内で、植物栄養素となる成分同士が不必要な結合を行い、植物が利用できない形になってしまうことを回避することができます。また、カルシウム含有の液体資材などにはマイクロカプセル技術が使用されており、マイクロカプセル化されたカルシウムは他の成分との不必要な結合が回避されるだけでなく、マイクロカプセルに使用されている界面活性剤により、葉面での残効性と土壤中での浸透性を向上します。これらの技術が適用されているリドックス製品は、植物栄養素の化学結合による難溶化を回避します。そのため、一般的な農業資材よりも施用量に対する吸収効率が80%以上と高く、少ない施用量でも高い効力を発揮します。リドックス製品は植物栄養素の保護によって従来では無駄に発生していた難溶化成分を極端に減らすことから、持続可能な“サステイナブル資材”として期待されています。



Redox技術による  
成分保護のイラスト

